

2024 年度事業計画

(2024 年 1 月 1 日～12 月 31 日)

1 本部

(1) 総会・理事会の開催 (予定)

- ・ 第 1 回理事会：2 月 10 日 (土) <オンライン=L> 「決算など」
- ・ 定 時 総 会：3 月 8 日 (金) <L>
- ・ 第 2 回理事会：3 月 8 日 (金) <L> 「役員分担など」
- ・ 第 3 回理事会：9 月 27 日 (金) <リアル=R> 「収支中間報告など」
- ・ 第 4 回理事会：12 月 14 日 (土) <L> 「次年度予算など」

(2) 刊行物・電子メディア等での発信

- ・ 会報
第 61 号 8 月発行 (定期)
- ・ 名簿
2024 年度 11 月発行 (定期)
- ・ ウェブサイト
創基 150 年を考慮したビジュアルな発信物に注力する。
- ・ マスメディア
重要案件等をマスメディアに対し、積極的に情報提供していく。
- ・ 発信体制
「さっぽろ農学校リポーター・サポーター」の補充を行う。

(3) 交流・親睦事業

- ・ 新年交礼会 (例年 1 月開催) は、2024 年 1 月 5 日 18 時開催の支援。

- ・ 新入会員歓迎会（卒業祝賀会）＝例年 3 月開催＝の支援。
- ・ アルムニレクチャーの開催を支援する。東京支部と関西支部から会員を招聘する。
- ・ 学生会員制度の発足により、学生全体を対象に、「新入会員ガイダンス」の開催を検討し準備する。学年別開催も検討。
- ・ 親睦園遊会（例年 6 月開催）は、6 月 28 日（金）夕に開催する。
- ・ 遠友夏学校を 6 月 29 日（土）午前に開催する。
- ・ 理事・代議員集会は、6 月 29 日（土）昼食を摂りながら開催予定。
- ・ 理事会、元教授および役員交流会（例年 9 月開催）は、北大ホームカミングデーの前日、9 月 27 日（金）に開催する。
- ・ 市民公開「新渡戸稲造記念講演会」を 9 月 28 日（土）午後で開催する。

（４）母校への助成

- ・ 農学研究院・農学院・農学部への助成を行う。
- ・ 卒業・修了生への学位記ケース助成、クラーク農学賞図書券助成を行う。
- ・ 外国人留学生交流会助成など、必要な事業に対して助成を行う。

（５）学会開催等への助成

- ・ 学会開催助成については、総会までに助成対象を決定する。

（６）農業農学振興事業等への参画・助成

- ・ 親子食農体験講座「あぐり大学」（原則奇数月）と市民公開講座「時計台サロン」（年 6 回から 4 回開催に変更）などを展開している農学部・北海道新聞編集局連携事業には、引き続き、実行委員会への参加、各種助成等を行う。
- ・ 当会主催の「出張時計台サロン」は、道民カレッジの連携講座に登録し、講師料も定額であることから、道民への周知を積極的に行う。北海道銀行が全営業店舗での映像資料放映の機会を提供してくれたことから、これを積極的に活用していく。

(7) 農学生緊急支援

- ・学生院生たちの生活とバイト環境は、以前より改善されたとは言え、コロナ情勢等によっては、再び厳しくなる可能性もないわけではない。2020年5月から取り組んでいる農学生緊急支援プロジェクトについては、今後とも、カンパや関連広告（会報等）を受け付けるとともに、必要時のために生活支援金等のための蓄えは維持し、引き続きバイト支援などを行っていく。
- ・会員諸氏と市民からの緊急支援カンパは目的指定寄付で、特別会計扱いであるが、取り組み内容によっては、一般会計からの支出も検討する。

(8) 同窓会メディア拡充

- ・オンライン会議対応、電子メディア対応の拡充が求められていること、学生を含むより若い層への情報提供が一層求められていることから、同窓会メディアの拡充を進める。
- ・同時に、母校と同窓会、農学を知るのに役立つ情報を紙でも提供することが求められていることから、冊子やブックレットを発行する（2024年はブックレット2冊を予定）
- ・これらの事業は「さっぽろ農学校サポーター」たちの力を借りて進める。

(9) 「新渡戸プロジェクト」への協力

- ・新渡戸稲造先輩（1881＝明治14＝年卒業）が遠友夜学校を開いた土地（現在の新渡戸稲造記念公園＝中央区南4東4）に、「新渡戸稲造遠友館」（仮称）を建設する運動が、一般社団法人「新渡戸遠友リビングラボ」（略称NELL、旧「新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会」）を中心に進められており、母校北大も、同館を大学サテライトとして、またSDGsを目指す北大のシンボルとして位置づけ、北大創基150周年記念事業の「応援事業」に指定した。建築設計や建材への研究林木材の提供などを進めている。
- ・この運動はまた、北海道と札幌市、JAグループ北海道や北海道商工会議所連合会など経済界と自治体の参画と強い関心の下に広がりを見せており、同窓会としては、建設及び施設運営、事業展開を含む運動全体を支えるべく、全面的に連携、協力していく。

(10) 「北大創基 150 年貢献プロジェクト」の検討

- ・北海道大学は 2026 年に創基（開学）150 周年を迎えることから、その記念事業を準備している。当会としては、農学部らしい、かつ農学同窓会らしい事業に取り組もうと、札幌農学校以来の重要史料を発掘・整理・保存し、HP 上の「お宝アーカイブス」に掲載する電子アーカイブス化、またそれらを利用した展示会開催や書籍出版する「お宝発掘発信プロジェクト」などを通して「150 年」を祝い、考え、発信する企画の検討を進める。
- ・具体的には、農学部園芸学講座の図書室に眠っていた「植物画」、同窓会事務所書庫に保存されていた「札幌同窓会報告」、モデルバーンの一角に保存されていた「動物画」、著名な先達の遺品などが対象で、そのほかにも会員から会に寄せられるさまざまな貴重なお宝や関連情報も対象とする。

(11) 学生会員制度の普及・定着

- ・新たに発足した学生会員制度の速やかな定着を図るため、教員や学部事務関係者との連携のもと、入会メリットの具体化や簡単で分かり易い入会手続きの構築を急ぐとともに、学部移行生を中心とした PR 活動等を積極的に展開する。

2 東京支部

札幌農学同窓会東京支部は会員相互の交流及び知識の向上を図るため、2024 年度において次の事業を行う。

(1) 通常総会の開催

2024 年 2 月 17 日（土）13 時 00 分から、TKP 東京駅カンファレンスセンターにおいて、対面方式とオンライン（Zoom）方式を組み合わせで開催する。

(2) 理事会の開催

オンライン方式での開催を基本としつつ、必要に応じて対面方式での開催も組み合わせ、概ね 2 ヶ月毎に適宜開催する。なお、第 1 回会合は、総会準備のため 2024 年 1 月に開催する。

(3) 講演会等の開催

会員への情報提供の機会として、時宜に適したテーマによる講演会を積極的に実施することとし、第1回目を2月17日(土)に予定している総会の終了後に、北大農学研究院から講師を招聘して開催する。

また、例年秋期には獣医学部同窓会関東支部と共催講演会を開催しており、今年度は、獣医学部側が講師の選定等を行うこととなっている。

さらに、講演会の開催に際しては、できるだけ懇親会を併せて実施し、会員交流の促進に努める。

なお、会員の積極的な参加を喚起するため、昨年度から対面方式とオンライン方式を組み合わせて実施しており、今年度も同じ方式を基本に開催する。

そのほか、これまで「女性同窓生オンラインお茶会」、「会員交流サロン」など、オンラインを活用した会員交流を進めてきているが、引き続き、相互交流機会の設置に努める。

(4) 各種行事への支部代表の派遣

3月下旬に予定されている修了・卒業祝賀会に、要請があれば、東京支部代表を派遣する。

毎年6月に開催されている関西支部主催の「市民公開フォーラム」に役員を派遣し、支部間の交流を図る。

北大農学研究院主催の「札幌アルムニ・レクチャー」について、必要に応じて、東京支部代表の派遣を検討する。

(5) 各委員会の活動

1) 札幌農学校普及委員会

「札幌農学校」出版助成・普及頒布事業として、一昨年度の増刷分を有効活用し、入学・進学時の学生、院生を対象として毎年4月に一括寄贈する。

農学部に進学する「新渡戸カレッジ」の学生および院生(合計約30名)を対象として、新渡戸稲造の世界的な名著である「Bushido」、内村鑑三の「代表的日本人」「後世への最大遺物」を寄贈する。

2) 企画・交流委員会

講演会等の企画、講師候補者の選定、支部代表の派遣候補者を検討するとともに支部活動の活性化に向けて、各種行事の機会を利用して、若手会員や女性会員の参加を促していくことに加え、農学部の特色を生かした新規行事の企画を検討する。

3) 情報委員会

東京同窓会情報処理委員会と連携を図り、札幌農学同窓会東京支部ホームページの充実を図るとともに、会員への情報発信を拡充するため、各種行事のオンライン化・ハイブリッド化、メルマガの積極的配信等を進める。

さらに、東京支部会員のメールアドレス登録数の拡大を図るとともに、会員連絡方法の電子化に必要な会員名簿整備のため、本部情報担当理事との連携を強化する。

(6) その他

東京支部会員の移動・消息情報の本部への連絡等を通じ、「札幌農学同窓会会員名簿」の正確性向上に協力する。

北大東京同窓会等の各種関係団体との連携を図る。

3 関西支部

(1) 通常総会の開催

2月17日(土)に大阪ガーデンパレスにおいて通常総会を開催する。

新体制2年目となる年度であり関西支部20周年を迎える年として周年企画の開催準備を具体化する。

(2) 講演会の開催

春季講演会は2月17日(土)の通常総会に合わせて実施する。講師は天知輝夫氏(S38年農化卒)で演題「有用微生物の探索からゴミ拾いの道へ」

秋季講演会は、10月19日(土)にホテル日航大阪の開催で準備を進める。例年通り、北大関西同窓会の総会にあわせて開催を予定。

(3) 市民公開フォーラムの開催

第18回市民公開フォーラムは6月8日(土)「堺市立フェニーチェ堺」にて開催する。テーマは「考えよう！子供の食と健康を支える食生活」として企画準備を進める。基調講演は久田徳二氏でテーマを“子供たちの食に係る活動と食育に関する”話題をテーマとして調整予定。

その後親子で参加できるクイズ大会、パネルディスカッションを開催する計画で準備中。企画内容を一部変更し、市民や子供も講演会に参加しやすい内容の開催を進める。

近畿農政局、大阪府、堺市の後援、関西同窓会の共催、北大農学部、札幌農学同窓会本部のご協力のもとで開催する。

(4) 理事会の開催

本年度も毎月一回（8月を除く）理事会を開催し業務の遂行を行う。

(5) アルムニレクチャーへの講師派遣

北大農学研究院主催の「アルムニレクチャー」については同窓会本部との調整のうえ、講師を派遣する。

(6) 修了・卒業祝賀会への関西支部代表の派遣

修了・卒業祝賀会が実施されれば関西支部代表を派遣し、本部とともに札幌農学同窓会会員入会促進を行う。

(7) 同窓会会費の納入促進と新入会員の参加促進

総会、市民公開フォーラム、講演会、懇親の場や案内を発信する機会に、新規会員の勧誘と会費の納入促進を行う方法を改善しながら進める。若年層や女性会員の参加を促す企画開発を20周年に絡めて検討するPJ活動を開始する。

(8) ホームページの開設

「関西支部ホームページ開設+20周年企画」PJを設置し、3月中のホームページ開設で、各種イベント情報、連絡事項に直接アクセスできるツールを目指す。